

本 会 記 事

◎第 1 回大会

本会創立後はじめての大会が昭和 35 年 11 月 17 日(木)、18日(金)両日に亘り下記の如く東京千代田区大町産経会館で開催された。以下その概要を報告する。

第 1 日 昭和 35 年 11 月 17 日(木)

午前の部

開会の辞 和田 弘君
座 長 城 憲三君(阪大・工)

招待講演

国際計数センタのシンポジウムに出席して
後藤以紀君(工業技術院)

一般講演(7件)

午後の部

座 長 高橋秀俊君(東大・理)
一般講演(8件)

第 2 日 昭和 35 年 11 月 18 日(金)

午前の部 座 長 和田 弘君(電試)

招待講演

官庁統計における電子計算機の問題
後藤正夫君(行政官庁庁)

一般講演(7件)

午後の部 座 長 喜安善市君(通研)

一般講演(7件)

本大会の招待講演(2件)および一般講演についてはその代表的なものが会誌に採録される。登録参加人数は 243 名であった。なお本大会第 1 日目の昼食休み時間中に国際電々および(社)日本電子工業振興協会電子計算機センターの見学が行なわれ、それぞれ 15 名、20 名の見学者があった。また第 1 日目夕刻には同じく産経会館内で懇親会を催し、山下会長以下約 5 名の会員が集り、大会運営のありかた、今後の活動方針等について意見の交換が行なわれた。

◎第 1 回評議員会

学会創立後はじめての評議員会が大会第 2 日目昼食休み時間を利用して下記の如く開催された。

日時: 昭和 35 年 11 月 18 日(金) 午後 1:30~2:30

場所: 産経会館中会堂

出席者: 山下会長, 山内副会長, 和田・高崎各常務理事, 茅野・喜安・清宮・後藤各理事, 斎藤監事, 杉田・清野・奥野・鴨志田・穂坂・城・三輪・荒川・高田・石川・小田原・篠尾・牧野・難波・安藤・加藤各評議員ら 25 名, 委任状 23 名, 計 48 名。

議事:

- (1) 学会創立以来の経過報告 高崎常務理事
- (2) IFIPS の来期予定について報告 山下会長
- (3) 森口常務理事辞任申し出の件

森口常務理事は昭和 35 年 8 月より約 1 カ年間外国出張にて不在のため辞任したき旨申し出があり、事情やむを得ないので同氏の辞任(理事として残留)を認め、その残留期間は清宮理事が常務理事に就任することとなった。

- (4) 理事会車代支出の件

理事会の出席者に対し車代を支払うこととし、その額については会長に一任された。

- (5) 次期評議員の選挙方法について

現在の評議員(従って会長以下の各役員)は昭和 36 年 5 月の総会で一応全員任期満了となるので次期評議員選出方法について種々意見を交換した結果、追加記名を認め一定数の推せん候補者を掲げる連記法により会員の投票を求めることとした。

- (6) その他

現会員の構成について種々意見を交換し、プログラムまたは実際使用者などの層をとくに勧誘獲得するようにとの意見が強かった。

◎理 事 会

第 7 回理事会(昭和 35 年 11 月 11 日)

- (1) 会誌編集 3, 4 号状況の件
- (2) 全国大会の件
- (3) 評議員会開催の件

第 8 回理事会(昭和 35 年 12 月 18 日)

- (1) 全国大会, 評議員会の報告
- (2) 会誌編集(4号)状況の件
- (3) 賛助員勧誘の件
- (4) コード会開催の件
- (5) その他諸報告

第 9 回理事会(昭和 36 年 1 月 20 日)

- (1) 会誌発行（4号）状況の件
- (2) 次期役員選挙方法の件
- (3) その他諸報告

第10回理事会（昭和36年2月10日）

- (1) 評議員選挙の件
- (2) 会誌編集（第2巻第1号）状況の件
- (3) 会長 IFIPS 準備会出張の件
- (4) 諸報告

第7回以降の理事会開催状況は下記のとおり

理事会開催状況

会 次	第7回	第8回	第9回	第10回
開催日時	11/11	12/18	1/20	2/10
山下会長				○
山内副会長	○	○	○	○
常務理事	清宮	○	○	
	高崎	○	○	○
	高橋	○		○
	和田	○	○	○
理事	宇野			
	茅野		○	
	川上			○
	喜安	○		○
	後藤			○
	南沢			
幹事	森口			
	森田			
斎藤監事		○		○

◎幹事会

第7回以降の開催状況は下表のとおりである。

会 次	第7回	第8回	第9回
開催日時	11/10	1/31	2/24
出席者数	9名	9名	9名
主なる議事	全国大会の件 会誌4号の件	会誌4号及び第2巻第1号の件	幹事増員の件、 会誌第2巻第1号の件 " " 第2号の件

◎月例講演会

- (1) 10月月例講演会

昭和35年10月28日(金) 場所 電機工業会館
出席者 約50名

演 題

- (1) 証券事務機械化の1ケース
田中信次郎君(大和証券)
- (2) 事務データー処理の1ケース
植木繁君(古河電工)
- (3) 事務データー処理の点から見た機器への要求
南沢宜郎君(小野田セメント)

◎会員の状況

会員数はその後逐次増加し昭和36年1月末現在789名に達した。なお2月1日現在で会員名簿を作成、3月中旬各会員に配布の予定である。

◎会計の状況

昭和35年度第3・四半期における会計の収支は下表のとおりである。

(昭35.12.31現在)

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
会誌出版費	55,760	会費収入	758,000
研究会費	7,000	賛助会費	1,240,000
人件費	88,929	入会金	75,800
会議費	130,435	仮受金	40,000
印刷費	665,735	雑収入	16,640
通信費	33,752	利息収入	6,626
交通費	11,440		
事務消耗品費	10,816		
手数料	11,660		
事務所経費	33,120		
雑費	83,626		
海外出張旅費	15,840		
計器備品	42,322		
IFIPS負担金	90,080		
翌月繰越金	856,551		
合 計	2,137,066		2,137,066

翌月繰越金	現 金	9,452
	振替貯金	28,453
	銀行預金	818,646

¥ 856,551